資料-4

新たな「北陸圏広域地方計画（案）」 広域連携プロジェクト　体系図（案）

将来像	目標	戦略	広域連携プロジェクト	取組施策
暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く 新・北陸	目標1 個性ある北陸圏の創生	(1)親との近居や地域コミュニティを維持するとともに、子育て支援や女性就業、生活サービス支援等誰もが暮らしやすい生活環境の充実 (2)本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実 (3)多様性と集約性のある都市サービス拠点のコンパクト化と交通ネットワーク充実による持続可能で多様な居住選択機会の提供及び人口誘致	1. 豊かな暮らしを育む連接型都市圏形成PJ	・住環境や子育て環境にも恵まれた個性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上 ・近接する都市圏相互の魅力を享受することのできる連接型都市圏の形成 ・個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成 ・インフラ投資の重点化・効率化と公共施設の計画的な管理
			2. いきいきふるさと・農山漁村活性化PJ	・農山漁村の活性化 ・都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化
		(4)風水害・土砂災害等のほか、地震・津波も含めた更なる災害リスク低減に向けたソフト・ハード一体の防災・減災対策の強化や居住環境の充実	3. 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化PJ	・防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり ・地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化
		(5)豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応	4. 北陸の多彩な自然環境保全PJ	・立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全 ・日本海沿岸地域の環境保全
			5. 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成PJ	・最先端エネルギー分野の新技術開発と新事業の創出 ・環境にやさしいくらしの普及・定着
三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する 新・北陸	目標2 競争力のある産業の育成	(1)集積する同業種・異業種や高等教育機関の連接都市間での対流と交通・ICTネットワーク環境の充実 (2)太平洋側及び海外企業等の製造拠点・本社・研究開発・研修機能の誘致推進に向けた支援施策や環日本海諸国等海外や国内他地域との経済連携・立地ニーズに応えるPR強化 (3)圏域の食料供給力と地域ブランド力の更なる強化	6. 東アジアに展開する日本海中枢拠点形成PJ	・日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化 ・三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進
			7. 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開PJ	・食料供給力の強化 ・「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充
	目標3 日本海側の中枢拠点の形成	(1)市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化 (2)太平洋側の防災面に加え産業等機能においても代替性を発揮する防災・産業拠点及びネットワークの強化	8. 強靭な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築PJ	・防災ネットワークの構築 ・リダンダンシーの確保
	目標4 対流・交流人口の創出	(1)多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光周遊ルートの充実 (2)北陸新幹線の開業、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、さらにはリニア中央新幹線の開業を見据えた首都圏や欧米豪、アジアの新興国等国内外観光客誘客促進と魅力の発信	9. 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成PJ	・地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり ・国内外観光客の戦略的な誘客拡大